

事業所名

ぼぼろ石倉

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念	1. 早寝・早起き・朝の散歩の生活実践 3. 真のノーマライゼーションの追求	2. 這う運動によりからだの全体発達を促す 4. なによりも日中を楽しく充実して過ごす。
支援方針	1日の生活リズムを大切に、「眠ること」「食えること」「遊びきること」ができるようにしていきます。 子どもたちの誰もが生き生きと生活でき、全体発達を保證できる場を提供します。	
営業時間	8 時 30 分から 15 時 30 分まで	送迎実施の有無 なし
支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	24時間の生体リズムを大切に、生き生きとした生活が送れるように家庭と連携していきます。 思いきり身体を動かし、楽しんで過ごしなが、食事、排泄、着替えなどをひとりでする機会を働きかけ増やしていきます。 野菜中心の手作りの給食やおやつを提供しています。
	運動・感覚	毎日、体操を実施することで体をほぐし、はいはい遊びや滑り台の逆さ登り、登り棒で全身の筋力を育てていきます。 また、平均台やバランスボールなどの活動でバランス感覚をつけていきます。リズム遊びも楽しんでいます。 坂道や階段を歩いたり、テンポよく一定の速さで歩く散歩で体力をつけていきます。手先を使う活動（色玉、ボタン、新聞紙等）で手先の器用さを育てていきます。
	認知・行動	生活の流れの中で、身の回りのことが自分自身でできるようにしていきます。 また、生活や遊びの中で色や形、数等の興味を持って、認識していけるように取り組んでいきます。
	言語 コミュニケーション	首の立ち直り、腕の力をつけ言葉につなげます。また、本読み、みたてつもり遊び等、笑顔で楽しみながら、職員は「ゆっくり」「はっきり」と話かけていきます。 職員が代弁して気持ちを聞き出し、言葉につながるような工夫・支援をして友だちとコミュニケーションが取れるように働きかけていきます。 遊びや生活をしていく中で、絵を通して子どもの気持ちに共感し表現し伝える喜びを育てます。
	人間関係 社会性	あやし遊びで向かい合い、声を上げ笑いあう関係をつくっていきます。 また、ちょうだい遊びで人との関わりを深めていきます。 友だちや職員とみたてつもり遊びを楽しみ、劇発表会等で披露していきます。
家族支援	家庭の様子、事業所での様子を共有し、成長・発達に必要な支援を家庭と連携し行っていきます。 家庭で困ったことがあれば相談に乗り解決していきます。	移行支援 保育園、幼稚園、学校等、関係機関と連携をはかり、本人が過ごしやすい環境に移行していけるように支援していきます。
地域支援・地域連携	地域の公共施設を活用し、子どもの成長・発達に生かしていきます。 関係機関と連携し、地域で暮らしやすくなるよう取り組んでいきます。	職員の質の向上 法人研修を実施し、支援の質の向上に努めています。 また、外部研修にも参加しています。 資格取得希望者には費用の一部負担も行っていきます。
主な行事等	こいのぼり集会、七夕集会、納涼祭、親子遠足、運動会、クリスマス会、豆まき集会、劇発表、ひな祭り集会、卒園式、修了式、山登り、誕生会、製作活動等	